

表1 業種別（前年比較）

※()内は死亡（内数）

※労働者死傷病報告（休業4日以上死傷災害）により作成()内の数値は死亡者数（内数）を表す

※新型コロナウイルス感染症のり患者数を除く

兵庫労働局

業種	令和5年(1月~12月)		前年同期		前年比較	
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
全産業	5,278 (25)	100.0% (100.0%)	5,130 (32)	100.0% (100.0%)	148 (-7)	2.9% (-21.9%)
製造業	1,140 (6)	21.6% (24.0%)	1,133 (8)	22.1% (25.0%)	7 (-2)	0.6% (-25.0%)
建設業	438 (8)	8.3% (32.0%)	449 (8)	8.8% (25.0%)	-11 ()	-2.4% ()
陸上貨物運送業	625	11.8% ()	658 (1)	12.8% (3.1%)	-33 (-1)	-5.0% (-100.0%)
農林業	52 (1)	1.0% (4.0%)	65 (1)	1.3% (3.1%)	-13 ()	-20.0% ()
上記以外	3,023 (10)	57.3% (40.0%)	2,825 (14)	55.1% (43.8%)	198 (-4)	7.0% (-28.6%)

表2 事故の型別

※表中の数字は人数、()内は死亡（内数）

グラフ 事故の型別

建設工事・事故の型別	死傷者数	(土木工事)	(建築工事)	(その他の建設)
墜落・転落	144 (2)	26	77 (1)	41 (1)
転倒	54 (1)	15	26 (1)	13
飛来・落下	41	6	23	12
倒壊・崩壊	7	1	6	
激突され	20 (1)	5	9	6 (1)
はさまれ・巻き込まれ	52 (1)	17	16	19 (1)
切れ・こすれ	33	5	18	10
高温・低温の物との接触	11 (1)	3 (1)	2	6
交通事故	17 (2)	4	5 (2)	8
上記以外	59	13	24	22
合計	438 (8)	95 (1)	206 (4)	137 (3)

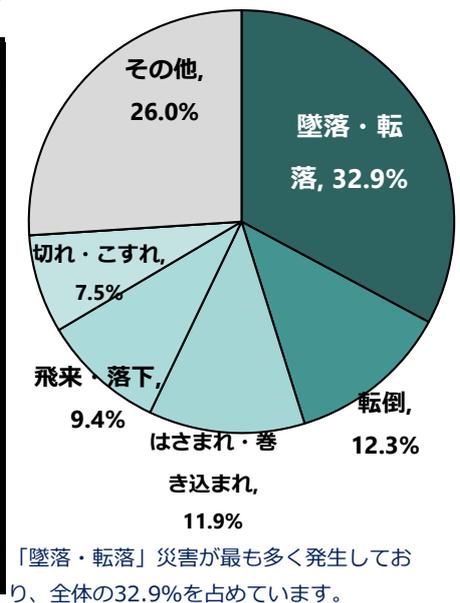


表3 災害程度別

※表中の数字は人数、()内は死亡（内数）

建設工事・災害程度別	4日以上 2週未満	2週以上 1か月未満	1か月以上 3か月未満	3か月以上 6か月未満	6か月以上	死亡	計
土木工事	13	14	41	25	1	1	95 (1)
建築工事	36	33	70	50	13	4	206 (4)
その他の建設	20	33	45	29	7	3	137 (3)
合計	69 (0)	80 (0)	156 (0)	104 (0)	21 (0)	8	438 (8)

休業1か月以上となる災害が全体の66.0%を占めています。

表4 年齢別

※表中の数字は人数、()内は死亡（内数）

建設工事・年齢別	~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳~	計
土木工事	2	10	8	17	26 (1)	18	14	95 (1)
建築工事	6	39 (1)	29 (1)	48 (1)	48 (1)	21	15	206 (4)
その他の建設	1	16 (1)	25	34 (1)	32	25 (1)	4	137 (3)
合計	9 (0)	65 (2)	62 (1)	99 (2)	106 (2)	64 (1)	33 (0)	438 (8)

60歳以上の高齢労働者が全体の22.1%を占めています。

建設業における死亡災害発生状況（兵庫県内）

兵庫労働局安全課

令和5年統計確定値※死亡災害報告によるデータ（把握順）

件数	災害発生		業種	事故の型	起因物	発生状況概要
	月	時間	小分類	分類項目	小分類	
1	2	13時台	機械器具設置工事業	墜落・転落	開口部	コンベヤー更新工事で、サイロ7階のコンベヤー設置予定箇所である開口部から5.2m下の6階に墜落した。墜落制止用器具は着用し、開口部周囲に単管を設けていたが、臨時に取り外していた。
2	3	10時台	建築設備工事業	墜落・転落	建築物・構築物	空調設置工事において、2階建て建屋屋上のパラペット上（幅約20センチメートル）で空調用ダクトに巻かれた保温材の外側にガルバリウム鋼板を貼る作業中、約1.1メートル下の地面に墜落した。
3	7	17時台	その他の土木工事業	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	造成工事において、外周擁壁の型枠組立作業の補助作業に従事していた被災者が、作業を終了し片付けを行っていたところ、突然ふらつき始め、地面に横たわり、受け答えができない状態になったもの。
4	7	13時台	その他の建築工事業	激突され	玉掛用具	移動式クレーンでH形鋼材を、つりクランプ1個で玉掛けして縦に吊り上げ、既存の柱の近くに移動して着地させたが、被災者が作業をしていたので、別の柱に再び移動しようと、H形鋼材を地切りして水平移動中に、H形鋼材つりクランプから外れて落下し、地面に落ち倒れて被災者に当たった。
5	5	15時台	その他の建築工事業	交通事故（道路）	乗用車、バス、バイク	社用車で現場の見積もりに向かう途中、センターラインを越えてしまい大型トラックと正面衝突し、治療のため入院していた病院で後日死亡した。
6	12	10時台	機械器具設置工事業	はさまれ、巻き込まれ	高所作業車	被災者が高所作業車をバスケット内の操作盤で運転し、もう1人の労働者と2人で建屋側壁に排気フード設置用の開口を開ける作業を行った。その後、被災者が引き続き作業床を移動させていたところ、高所作業車のバスケットの手すりとは建屋の屋根部材との間に頸部をはさまれた。
7	12	9時台	建築設備工事業	交通事故（道路）	トラック	被災者がダンプトラックを駐車場の前の道路にエンジンをかけたままサイドブレーキをかけて停車し、次に向かう別の工事現場の準備等のためにダンプトラックから降りたところ、ダンプトラックが動き出し、ダンプトラックの運転席側の側面と隣家の外構（塀）の間にはさまれた。
8	1	14時台	その他の建築工事業	転倒	通路	一戸建て個人住宅において、被災者は窓枠サッシとガラスを結合するビード（ゴム枠）の交換業務が終わり、1階の庭で清掃作業の準備をしていたところ、後に転倒して地面で頭を強く打ち付け、治療のため入院していた病院で後日死亡した。